

令和3年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告書

【概況1】

社会福祉法人北海道家庭学校

I 組織体制について

1 役員

令和4年3月31日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	仁原正幹	理事	島田光隆
常務理事	清澤満	理事	浅利誠
理事	太田充子	理事	水上和俊
理事	軽部晴文	監事	平出寿
理事	関根春信	監事	海野功

6月11日の評議員会において理事8名のうち、1名が新任され（元大沼学園長で前バウムハウス施設長の水上和俊氏）、7名が再任となりました。監事は枝松邦幸監事が再任され、理事だった平出寿氏が監事として新任されました。また、9月23日に枝松監事から退任の申し出があり、12月13日に後任監事として海野功氏が選任されました。

2 評議員

佐藤京子	森下一彦	佐々木雅昭
河原英男	廣田洋子	小山和利
吉野政明	高藤和明	大黒宏

評議員9名中7名が再任となり、坂本・齋藤両評議員の勇退に伴う新たな評議員として、監事だった高藤和明氏と酪農顧問の大黒宏氏の2名が新任されました。

3 評議員選任・解任委員会委員

選任区分	氏名	選任区分	氏名
外部委員	吉川紘	事務局員	平井敬二
監事	平出寿	事務局員	楠哲雄
監事	海野功		

4 嘱託医、顧問、苦情解決第三者委員、事故防止対策委員

役職名	氏名	役職名	氏名
嘱託医（内科）	瀧本玲子	苦情解決第三者委員	大河原忠宏
嘱託医（歯科）	東海林浩二	苦情解決第三者委員	熊谷憲子
顧問弁護士	村松法律事務所 村松弘康	事故防止対策委員	木村一則
		事故防止対策委員	浅利誠

特別顧問	家村昭矩	事故防止対策委員	新山史賢
学術顧問	服部朗	事故防止対策委員	吉村憲彦
樹下庵診療所医療顧問	太田充子	事故防止対策委員	清澤満
山林顧問	阿部理		
酪農顧問	大黒宏		

新たに学術顧問として服部朗氏に、樹下庵診療所医療顧問として太田充子氏に就任頂きました。また、苦情解決第三者委員は、藤江昭氏が退任され大河原忠宏氏（遠軽町社会福祉協議会会長）が就任され、事故防止対策委員は高橋久氏が退任され新山史賢氏（遠軽町教育委員）が就任されました。嘱託医には、健康診断を中心に入所児童の健康状況を診ていただきました。苦情解決第三者委員及び事故防止対策委員には、合同の会議を開催し、家庭学校と児童の状況を報告し、助言をいただきました。

○苦情解決第三者委員会・事故防止対策委員会の開催状況

合同会議 令和4年2月21日（月）開催

- ・家庭学校の現状について
- ・児童の意向を把握する仕組みについて
- ・事故の発生状況について

5 北海道家庭学校百年史編集委員会

（令和4年3月31日現在）

委員長	二井仁美	北海道教育大学旭川校 教授
委員	大泉 溥	日本福祉大学 名誉教授
〃	富田 拓	網走刑務所 矯正医官 樹下庵診療所医療参事
〃	河原英男	遠軽町教育委員会 教育長
〃	森田 穰	遠軽町立遠軽小学校 校長
〃	阿久津美紀	目白大学 助教
〃	家村昭矩	社会福祉法人北海道家庭学校 特別顧問
〃	佐藤京子	社会福祉法人北海道家庭学校 評議員
〃	仁原正幹	社会福祉法人北海道家庭学校 理事長
〃	清澤満	社会福祉法人北海道家庭学校 常務理事 校長
〃	軽部晴文	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
事務局	平井敬二	社会福祉法人北海道家庭学校 企画総務部長
〃	楠 哲雄	社会福祉法人北海道家庭学校 自立支援部長

○役職員・外部委員の数 45名

理事	8名	監事	2名
評議員	9名	嘱託医（内科 歯科）	2名
顧問弁護士	1名	特別顧問	1名
学術顧問	1名	樹下庵診療所医療顧問	1名

山林顧問	1名	酪農顧問	1名
苦情解決第三者委員	2名	事故防止対策委員	5名
百年史編集委員	11名		

II 理事会等について

1 理事会の開催状況

開 催 日	議 事 案 件
第1回 令和3年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ・評議員選任・解任委員の選任について ・理事候補者の選考について ・監事候補者の選考について ・令和2年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第3次補正）について ・令和2年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告及び決算報告について ・監査報告について ・評議員会の開催について ・社会福祉法人北海道家庭学校組織規程の一部改正について ・学術顧問の委嘱について ・感謝状の贈呈について
第2回（書面表決） 令和3年6月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選定について ・常務理事の選定について
第3回 令和3年9月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・監査報告について ・職員住宅の整備について ・「ひとむれ」創刊1000号記念特集号について ・積立金規程の一部改正について ・樹下庵診療所の運営状況について ・令和3年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第1次補正）について
第4回（書面表決） 令和3年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・監事候補者の選考について ・評議員会の書面決議について
第5回 令和4年3月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・監査報告について ・人事について ・令和3年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第2次補正）について ・社会福祉法人北海道家庭学校給与規程の一部改定について ・令和4年度社会福祉法人北海道家庭学校事業計画及び一般会計予算について

2 監事監査の実施状況

- ・令和3年 5月14日 令和2年度決算監査
- ・令和3年 9月21日 定期監査
- ・令和3年12月23日 定期監査
- ・令和4年 3月17日 定期監査

III 評議員会について

1 評議員会の開催状況

開 催 日	議 事 案 件
第1回 令和3年6月11日	・令和2年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告及び決算報告について ・監査報告について ・理事の選任について ・監事の選任について
第2回（書面表決） 令和3年12月13日	・監事の選任について

IV 諸規程の整備について

関係法制度等の動きや家庭学校の運営に即して、次のとおり諸規程を整備しました。

1 組織規程の一部改正

- ・医療顧問と学術顧問を置くこととしたので、組織規程上の位置付けを明確にしました。

2 積立金規程の一部改正

- ・「学術振興服部基金」を新たに創設したほか、「職員研修・福利厚生足立基金」を「足立基金」と改称し、使用目的から職員の研修部分を削除しました。

3 給与規程の一部改正

- ・令和3年度人事院勧告にならい期末勤勉手当の支給率を4.4から4.3に改めました。

V 主要工事・新規購入物品等について

1 職員住宅建築工事	24,431,000円
2 向陽寮給湯ボイラー改修工事	389,400円
3 樹下庵来客用スリッパ殺菌機購入	113,387円
4 牛舎用扇風機購入	101,530円

【概況2】

児童自立支援施設「北海道家庭学校」

I 総括

1 暫定定員

令和3年度の暫定定員は、算定上は27でしたが、国の新型コロナの影響に伴う特例措置として、入所児童数の年平均人数が前年の暫定定数の90%以下となった施設は、暫定定数の算定から入所数の減った昨年度の平均人数を除外して計算できることになったため、暫定定数を27に縮小せずに29とすることができました。

年度中に入所した児童は10名で、退所した児童は12名でした。4年3月の初日在籍数は17名で、年度末の在籍は10名でした。

2 個別的・専門的な対応の必要な児童への配慮

入所児童のうち被虐待経験を有するケース、発達障害を有するケースがともに約9割ありました。集団的な指導に加えて、個別的・専門的な対応が必須となっています。

令和3年度は、23名の児童に対して心理士による心理療法を82回、生活場面面接を110回実施しました。樹下庵診療所には、開院した131日間に112名の児童（うち家庭学校入所児童23名）が延べ1,436人受診しました。

3 分校と連携しての学習支援と自立支援

入所児童は本館において、遠軽中学校・東小学校の望の岡分校による授業を受けています。月曜・火曜・木曜の午後、望の岡分校の学校日課の中で、家庭学校職員と望の岡分校教員の連携協力の下に作業班学習を行いました。また、多くの行事を共催で実施しました。

4 中卒児童への支援

義務教育を終了している中卒児童への支援は、家庭学校職員が児童の進路に応じたプログラムを用意して対応しました。

II 職員について

令和3年度在職職員及び事務分掌は、次のとおりです。（令和4年3月31日現在）

職 名	氏 名	職務内容・事務分掌
校 長	清 澤 満	総括
企 画 総 務 部 長	平 井 敬 二	企画総務部総括 法人本部事務・会計
職 業 指 導 員	夔 本 賢 治	主幹（酪農業務）酪農班指導
事 務 員	岩 田 可 奈 子	施設事務・会計
栄 養 士	菅 原 希 望	栄養管理 給食献立作成 食材調達等管理
自 立 支 援 部 長	楠 哲 雄	自立支援部総括
児童自立支援専門員	竹 中 大 幸	主幹（本館業務・作業指導）中卒クラス担当 校内管理班指導
〃	藤 原 浩	掬泉寮長 園芸班指導
〃	木 元 勤	本館職員 中卒クラス担当 山林班指導
〃	佐 藤 高 志	本館職員 中卒クラス担当 蔬菜班指導
〃	平 野 伸 吾	本館職員 蔬菜班指導
〃	大 里 真 子	本館職員 校内管理班指導 給食調理

児童生活支援員	蔓本広美	主任（酪農業務） 酪農班指導 給食調理
〃	藤原美香	掬泉寮母 給食調理
〃	稲田翔平	石上館副寮長 蔬菜班指導
児童生活指導員	西村健太郎	主幹（寮運営業務・作業指導） 石上館寮長 山林班指導
〃	野沢杏	本館職員 蔬菜班指導
〃	平野みほろ	本館職員 蔬菜班指導
児童生活指導員	小長谷健太郎	本館職員 酪農班指導
主任心理士	姜京任	主幹（心理担当）
医療参事	富田拓	樹下庵診療所医師
嘱託	田保ルミ子	樹下庵診療所受付・会計
〃	西村由香	給食調理
〃	中津川静	給食調理
〃	関谷幸子	給食調理
〃	戸松恵子	石上館給食調理
〃	栄和子	非常勤講師（中卒クラス担当）
〃	佐々木真哉	酪農業務

○職員数

北海道家庭学校 28名

令和4年3月31日現在

(内 訳) 校長	1名
事務職	2名
栄養士	1名
児童自立支援専門員	7名
児童生活支援員	3名
児童生活指導員	4名
心理士	1名
職業指導員	1名
医師	1名
嘱託職員	7名
(診療所受付・事務)	1名)
(調理員	4名)
(非常勤講師	1名)
(酪農	1名)

Ⅲ 児童の現況及び業務の推進状況について

1 入所児童

(1) 令和3年度における児童の入退所状況（初日在籍人数及び各月の入退所数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日 在籍数	12	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	17	178 月平均 14.8
入所数	2	1	0	0	1	0	1	0	1 (1)	1	2	1 (1)	10 (2)
退所数	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	7	12

※入所数欄の()内は月の初日に入所した児童数の再掲である。

(2) 令和3年度における退所児童の進路等の状況

進路先		人数	進路先	人数
家庭復帰	復学	1	他の児童福祉施設への措置変更	8
	進学	1	不結果(児相に再判定依頼)	1
	就職	1	その他	0
	その他	0		
直接就職		0	計	12

(3) 児童相談所別入退所の状況

区分	中央	旭川	帯広	釧路	函館	北見	岩見沢	室蘭	札幌市	計
入所	0	1	5	1	0	1	0	1	1	10
退所	2	0	3	2	0	2	0	1	2	12

2 寮運営

令和3年度は一般寮2寮(石上館・掬泉寮)を運営しました。

3 作業班学習

月曜・火曜・木曜日の午後、野菜班、園芸班、山林班、校内管理班、酪農班の5班に分かれ、作業班学習を行いました。11月18日開催の作業班学習発表会において、児童全員が活動内容について発表しました。

各作業班における主な活動内容は次のとおりです。

	野菜班	園芸班	山林班	校内管理班	酪農班
4月	ビニールハウス補修・造営 苗仮植	花の苗の仮植 温床用ハウス組立	安全講習 間伐 倒木・危険木処理 礼拝堂への参道の 清掃と整備 神社山の桜整備	スノーポール撤去 側溝砂利上げ 楽山療温床・部材 確認 神社山ハウス移設 スキーリフト撤去	牛舎清掃 電牧線張 給餌 排水溝整備
5月	野菜苗植え付け 播種	花の仮植 播種	看板作成 山道の穴の補修作	楽山療温床・掘 削、部材加工	牛舎清掃 電牧線張

		花壇の畑作り 関係者にプランター 配布	業 桜周辺の下草刈り	環境整備 カラマツ植樹	給餌 牛舎周辺刈払
6 月	野菜の苗の定植 雑草抜き	花の苗定植 花壇の畑作り	桜周辺の下草刈り 礼拝堂駐車場雑木 処理 林道整備	楽山療温床・部材 加工 味噌小屋周辺環境 整備 環境整備	牛舎周辺刈払 環境整備
7 月	牧草収納応援 移植	花の苗定植 花壇の除草	桜周辺の下草刈り 倒木処理	楽山療温床・部材 加工、解体 環境整備	牛舎周辺刈払 収穫牧草の収納 放牧地雑草取り
8 月	追肥 野菜収穫	花壇の除草	倒木・危険木処理 桜周辺の下草刈り	楽山療温床・防腐 剤塗布、解体 環境整備 木工教室で解体・ 整理	牛舎清掃 牛舎周辺刈払
9 月	秋野菜の播種 野菜収穫	花壇の除草 環境整備 花の苗の仮植	倒木・危険木処理 木材運搬	楽山療温床・防腐 剤塗布、部材加工 味噌小屋周辺環境 整備	牛舎清掃 放牧地周辺刈払 放牧地整備
10 月	野菜の収穫 落ち葉集め 天地返し	ドライフラワー作 り 土作り 花壇の後片付け	倒木・危険木処理 間伐 桜周辺の下草刈り と雑木整備 桜冬囲い	楽山療温床・部材 加工、組み立て 味噌天地返し、樽 移し替え 味噌小屋掃除 味噌造り 発表会掲示板ペン キ塗り	牛舎周辺刈払 収穫牧草の収納 収穫機械の清掃 採草地の土壌分析
11 月	作業班学習発表会				
12 月	野菜の保存	土焼き	山林作業	スノーポール設置 クリスマスリース 製作・設置	給餌 牛舎清掃
1 月	除雪	山林班と合同で伐 木	山林作業	山林作業	給餌 牛舎清掃 乳製品製造 除雪
2 月	山林作業 除雪	播種 育苗 除雪	山林作業	山林作業 除雪	乳製品製造 除雪

3月	山林作業 除雪	温床整備 播種 育苗	山林作業	山林作業 除雪	乳製品製造 除雪
----	------------	---------------	------	------------	-------------

4 事故等の状況

(1) 事故発生状況

無断外出	1件	2名	施設生活に嫌気がさして逃避行目的に無断外出する。
校内無断外出及び不法行為	4件	11名	生活に意義が見出せず、就寝後に寮を飛び出して本館教務室に侵入し物色する。(該当児童4名)
性的逸脱行為	1件	2名	就寝後に寮生同士で陰部を触る、触らせる行為がある。
自殺未遂	1件	1名	寮内での人間関係に嫌気がさして寮内で首吊り自殺を試みる。(寮長が察知して未然に防ぐ)

過去5年間の無断外出の発生状況

	29年度	30年度	元年度	令和2年度	令和3年度
件数	1	1	2	2	5
延べ人数	1	1	2	6	13

(2) 苦情の申し出状況

苦情受け付け箱（希望の声）を本館と給食棟の2カ所に設置し、児童の意見表明の機会を設けています。令和3年度の苦情受付は7件でした。

苦情内容及び希望	申出人	結果
寮の先生がみんなに対して嫌味を言う。	掬泉寮3名が連名で記入。	寮長より寮生に対して不適切な言動を謝罪する。
冬帰省がしたいです。	掬泉寮A君	入所して間もないことから帰省できないことを納得する。
「子どもの自由を取り戻せ！」	偽名	他児の話からA君であることが予想される。施設生活に納得できないため、再動機付けのために児相で一時保護中。
体育館で遊んでいる時に掬泉寮の子が勝手に入ってくる。	石上館H君	体育館での遊び方などについてひとむれ会で話し合い、ルールを作り周知する。
校長先生から流汗悟道の意味を教えて欲しい。	石上館H君	校長よりH君に対して説明する。
雪像作りをしている時に、学校の先生達を見るとソーセージを食べているので、自分たちも食べたかった。	石上館H君	心情を理解し、XCスキー大会の時にソーセージを提供する。
魚料理が出る回数が多い。生野菜にドレッシングをかけて欲しい。	石上館N君	給食運営会議で話し合ってもらった結果を伝えると納得する。

(3) 一群アンケートの実施状況

月に1度、全ての児童を対象にアンケート調査を実施し、記載のあったものについては速やかに対応しました。

5 クラブ活動

令和3年度は、1年を通して土曜日の午前中にクラブ活動を実施しました。前期は合気道とソフトボール、後期は合気道と室内球技と切り絵でした。今年度の合気道は新型コロナウイルス感染予防を徹底した上でボランティアの吉野先生と松田先生のご指導のもとで活動しました。

6 年間行事等の状況

4月	6日：一学期始業式 12日：散髪奉仕 15日：内科検診 29日潮干狩り
5月	4～5日：校長杯（フットサル・ミニバレー・ソフトボール・サッカー） 7日：花見の会 19日：マラソン大会
6月	7日：散髪奉仕 13日運動会
7月	19日：散髪奉仕 14日：相撲大会 21日：釣り遠足 23日：済美館清掃 29日：一学期終業式
8月	1日：慰霊祭 3～16日：夏季一時帰省 20日：二学期始業式
9月	6日：散髪奉仕 22日：マラソン大会 24日：創立記念日 29～10月1日：研修旅行
10月	9月29～1日：研修旅行 10日：熱気球体験 11日：園遊会 25日：散髪奉仕
11月	18日：作業班学習発表会
12月	6日：散髪奉仕 8日：音楽発表会 13日：木彫展 19日：クリスマス礼拝・晩餐会 22日：二学期終業式 23日～1月5日：冬季一時帰省
1月	12日：三学期始業式 18～20日：スキー学習 21日スキー大会（大回転）
2月	4日：スキー大会（滑降）9日：スキー大会（回転） 10日：雪像コンクール 27日：XCスキー大会（太陽の丘）28日：散髪奉仕
3月	21日：卒業証書授与式 24日：修了式
毎月	平和山記念碑参拝登山 誕生会 朗読会 日曜礼拝（毎週）

7 会議の開催状況

会議を次のとおり行いました。

- (1) 職員会議 … 毎週1回定例開催（原則水曜日午前）
- (2) 成績査定会議 … 成績を査定し、三賞（努力賞・作業賞・学業賞）を決定
7月20日 12月15日 3月16日
- (3) 作業班編成会議 … 4月5日 8月17日 1月6日
- (4) 給食運営会議 … 毎月1回定例開催

8 関係機関との連携・打合せ

(1) 児童相談所との連携

児童相談所との連携を深めるため、入所児童の経過判定のための来校時や児童移送等での児相訪問時に打合せや意見交換を行いました。また、運動会、作業班学習発表会、卒業証書授与式の際には各児童相談所に案内をしました。

(2) 関係機関との連携

卒業証書授与式には原籍校の校長などの出席を依頼し、児童に直接卒業証書を手渡ししてもらいました。

9 児童自立支援計画票の作成

新入生は3か月以内に、3か月以上経過した児童は年2回（5月と11月）に児童自立支援計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

IV 職員研修等について

職員の資質の向上を図るために、職場内研修に努めるとともに、外部の研修会にも積極的に派遣しました。ただし、コロナ禍の影響により外部研修が大幅に縮減されています。

校長

- ・全国児童自立支援施設新任施設長研修 9月28日～30日

自立支援部

<職場内研修・伝達研修>

- ・被措置児童等虐待防止研修（清澤校長） 4月21日：全職員
- ・北海道家庭学校卒業生の「予後経過」に学ぶ 9月22日：全職員
- ・被措置児童虐待に関する職場研修 10月20日：全職員
- ・理事長講話「子どもの人権を護る」（仁原理事長）10月20日：全職員

<外部研修>

- ・刈払機安全教育 4月14日：稲田、平野
- ・全国児童自立支援施設職員研修会（新任職員研修） 6月22日～23日：稲田、野沢
- ・第10回旭川思春期フォーラム 9月25日：野沢
- ・発達障害と愛着障害の介入アプローチの共通性と違いについて 11月7日：平野(み)
- ・東北北海道地区児童自立支援施設協議会専門部会（心理部会）10月～12月：姜
- ・全国児童自立支援施設職員研修会（短期実習コース）11月8日～12日：大里
- ・東北北海道地区児童自立支援施設協議会職員研修会（当番施設）
12月10日：清澤校長、楠、竹中
- ・北海道児童相談所児童福祉司任用研修会 12月6日、7日、1月17日、18日

：大里、稲田、平野、野沢、平野(み)

・施設における性の安全研修会 1月24日：姜、野沢

V 生産活動について

1 山林経営管理

令和3年度は森林管理計画（5年）の4年目となり、森林組合に委託して、次の事業を中心に材木の育成の促進及び健全性のための事業を実施しました。家庭学校の所有のする山林は、遠軽町から湧別町にかけて約400haで、樹種は、天然林が42%、カラマツが32%、トドマツが23%、他にグイマツ、ミズナラ、トウヒ、赤エゾマツとストロープが植えられています。

(1) 林班別の面積・樹種

① 遠軽町

71林班	88ha	天然林広葉樹、カラマツ、一部トドマツ
72林班	8ha	カラマツ、天然林広葉樹、トドマツ
73林班	3ha	カラマツ、天然林広葉樹
74林班	128ha	天然林広葉樹（78ha）、トドマツ、カラマツ、グイマツ、赤エゾマツ
75林班	82ha	天然林広葉樹（43ha）、トドマツ、カラマツ、トウヒ、赤エゾマツ
76林班	46ha	天然林広葉樹、カラマツ、トドマツ、赤エゾマツ、ストロープ

② 湧別町

18林班	21ha	カラマツ、グイマツ
19林班	23ha	トドマツ、カラマツ

(2) 山林事業の実施状況

(円)

事業名	林班	樹種	事業面積ha	事業費	補助金	自己資金
造林	18-1	カラマツ	3.17	1,819,598	1,590,308	229,290
下草刈り	18-33外	カラマツ	10.07	780,120	713,784	66,336
間伐	71-10	カラマツ	10.16	2,050,730	1,914,402	136,328
					材売上げ	3,471,966
野ねずみ駆除	71-4外	カラマツ	50.86	244,916	180,000	64,916
皆伐	18-1	カラマツ	1.8		材売上げ	1,584,000

	令和3年度合計	(令和2年度の状況)
収入 補助金	4,398,494円	(5,823,199円)
材売上げ	5,055,966円	(7,138,943円)
収入計	9,454,460円	(12,962,142円)

支出 事業費	4, 895, 364円	(6, 343, 570円)
総収支 (収入計-事業費)	4, 559, 096円	(6, 618, 572円)

山林事業の状況は、一昨年からすると事業規模が縮小しているかのように見えますが、昨年が通常年度より1.5倍ほどの間伐事業を行った関係から全体の金額が大きくなったということもあり、当年度はほぼ通常年度の収支となりました。

2 営農経営管理

令和3年度の酪農事業は、頭数規模を前年から年度末にかけて若干増頭しました。夏季の牧草収穫については、6月後期からの高温少雨のため一番牧草の収穫で刈り遅れとはなったものの乾燥品質の良い牧草が例年に比べて多く採れました。しかしながら、2番牧草は同じく高温小雨の影響での発育が悪く9月後半からの収穫スタートとなり、また、放牧草についても悪影響があり、7月後半には牛の食べた草が再生しない状況が続き、舎飼いをすることとなり、乳量の減少もありました。

バター・チーズ工場の乳製品については、昨年に引き続き遠軽町のふるさと納税の返礼品として、道の駅「遠軽 森のオホーツク」での取り扱い、ネット通販を中心に販売し、また、北見市や、本州関西圏でのイベントでも取り扱いいただきました。

6月から正職員を一名増員し、常時三名体制となりました。

(1) 牧草収穫量 (令和3年度)

圃場	一番牧草				二番牧草			
	面積(ha)	刈取り日	収納日	収量	面積(ha)	刈取り日	収納日	収量
向陽寮裏	0.64	6/22	6/24	ロール9本	0.64	9/13	9/16	ロール2.5本
給食棟・楽山寮横	0.9	6/22	6/24	ロール13本	0.9	9/13	9/16	ロール7本
洗心寮前	0.34	6/16	6/18	ロール4本	0.34	9/13	9/16	ロール1.5本
川口畑(小)	0.61	7/22	7/25	ロール13本	0.61	—	—	—
礼拝堂裏	0.7	7/16	7/18	ロール20本	0.7	—	—	—
川口畑(大)	1.37	7/28	7/30	ロール50本	1.37	—	—	—
川口畑(奥)	0.61	7/28	7/30	ロール20本	0.61	—	—	—
四町畑	4.52	7/13	7/16	ロール102本	4.52	9/26	9/30	ロール33.5本
掬泉寮裏	0.52	7/13	7/18	ロール16本	0.52	9/26	9/30	ロール5.5本
川口畑(手前)	1.5	7/16	7/18	ロール35本	1.5	—	—	—

合 計	11.71			ロール 282 本	9.21			ロール 50 本
3 年度	ロール合計 332 本							
2 年度	ロール合計 261 本							

(2) 飼養頭数

年齢	経産牛								育成牛			総計
	7-10	6	5	4	3	2	1	小計	1	0	小計	
3 年 3 月	3(1)	1	2	5(1)	4(1)	6(1)	0	21(4)	6(2)	8(2)	14(4)	35(8)
4 年 3 月	4(1)	0	4(1)	4(1)	6(1)	5(1)	1	24(5)	7(3)	7(3)	14(6)	38(10)

() 内はジャージーの頭数で、内数である。

(3) 分娩件数、生乳販売等実績

	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
分娩件数	21 件	20 件	20 件
生産乳量	132.8t	134.9t	126.8t
生乳販売金額	10,038,841円	10,616,027円	9,390,114 円
個体販売頭数	14 頭	10 頭	22 頭
個体販売金額	2,110,466円	1,402,998円	3,119,283 円
バター生産量	83.2kg	57.4kg	56.9kg
バター生産個数	665 個	459 個	455 個
チーズ生産量	370kg	373.6kg	約 455kg (試作含む)
バター・チーズ 販売金額	2,864,907円	1,737,513円	545,600 円

VI 実習生・研修生の受入れ状況について

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数		1		1	2	1							5
人数		1		1	3	1							6

【概況3】

自立援助ホーム「がんぼうホーム」

I 総括

令和3年度は昨年度に引き続き常勤職員3名非常勤職員2名の体制で運営しました。入居者は年度当初4名でした。年度中に入居1名、退居3名あり年度末での入居者は2名となりました(定員6名)。

入居は4月に札幌市児相より1名でした。退居は9月、11月、3月にそれぞれ1名でした。退居者については、家庭の支援を受けながらの自立を目指す者が1名、グループホームに移り福祉就労サービスを受け自立を目指す者が2名でした。

入居者の年間平均は4名となり、経営的に不安がありましたが、措置費(事務管理費)が定員6名分の支給となり満たされたものとなりました。

入居者に対しては、就労支援として就職探し及び就業が継続できるよう支援を行いました。

修学については、遠軽高校定時制休学者1名は復学しましたが、やはり学校に馴染めず自主退学となりました。通信制高校に通学したものは無事に1学年を終え2年生に進級しました。

就労は主にハローワークを通じて情報を得、就労先は町内外企業の協力により設備工事関連企業、大型スーパー、飲食店、コンビニエンスストア、観光協会となっています。

入居者への対応は生活状況の変化に留意しながら職員の面談を中心に行っていますが、樹下庵診療所受診、家庭学校心理士面談、及び措置児童相談所と連携を取りながら対応しました。

II 職員について

支援職員5名(常勤3名うち1名はホーム長を兼ねる。非常勤2名うち1名は宿直対応、1名は日直対応。)

職名	氏名	職務内容・事務分掌
ホーム長	清水真人	常勤 総括
児童生活支援員	清水律子	常勤
児童生活指導員	伊東睦子	常勤
児童自立支援専門員	木元 勤	非常勤 宿直対応
嘱託職員	加茂文明	非常勤 日直対応

III ホームの現況について

1 入居者の受入状況

・令和3年4月

入居者4名(旭川、帯広、北見、岩見沢)

就学状況 遠軽高校定時制1名(復学後退学) 有朋高校(通信)1名

・令和4年3月

入居者3名(帯広、北見、岩見沢)

・受入前在籍 家庭5名

2 退居の状況

家庭支援による自立1名(旭川) 授産施設移行2名(札幌市、帯広)

3 入居者の現況について

① 定員・在籍数(令和3年3月31日現在)

定員	在籍数	入所率
6	2	33%

② 措置児童相談所

中央	旭川	函館	帯広	釧路	北見	岩見沢	室蘭	札幌市	合計
0	1	0	1	0	1	1	0	1	5
0%	20%	0%	0%	0%	20%	20%	0%	20%	100%

③ 月別在籍人員推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初日	4	5	5	5	5	5	4	4	4	3	3	3	49
受入	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退居	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3
月末	5	5	5	5	5	4	4	4	3	3	3	2	48

④ 初日年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16歳	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0
17歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2
18歳	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	5	5	5	5	5	4	4	4	3	4	3

⑤ 在籍期間

～3か月	～6ヶ月	～1年	～1年半	～2	2年～	計
0	0	2	1	2	0	5
0%	0%	40%	20%	40%	0%	100%

4 会議の開催状況

毎週始めに、常勤職員による内部打合せを行いました。年3回職員全員による内部会議を開催しました。

5 自立生活援助計画の作成

5月、11月には、入居者の自立生活援助計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

6 職員研修について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催しているホーム長研修会はリモート開催、全国自立援助ホーム協議会大会及び自立援助ホーム北海道ブロック交流会が中止となり参加できませんでした。常勤職員に対して、理事長講話が行われました。